

# 学校だより

学校教育目標

「心身ともに健康で、温かい思いやりの心を持ち、自ら学び自ら考える児童の育成」

令和4年度 学校通信 学力特集



# あのお



(令和4年9月30日)

北九州市立穴生小学校  
校長 弥永 和利

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

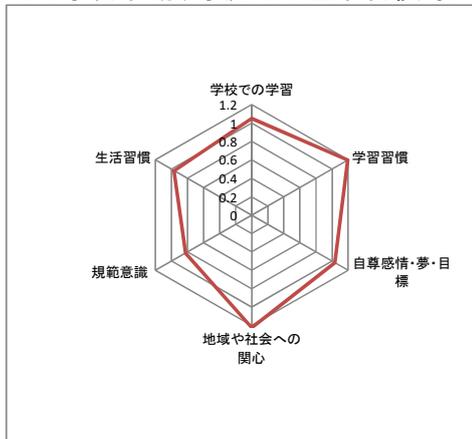
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析(傾向や特徴)  | 全国平均正答率との比較 |
|-------|---|-------------|
| 国語    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には、全国平均正答率よりやや下回っていたが、ほぼ同程度の結果が出ていた。</li> <li>・長文を読んで叙述や描写をもとに考え解答する問題(「読むこと」)については、他の領域と比較して、正答率が低かった。</li> </ul> | やや下回っている。   |
| 算数    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に全国平均点を上回っている。特に「数と計算」領域は、全国平均を大きく上回っていた。</li> <li>・無回答率は全問を通して低いが、立式を問われる問題や思考を記述する問題に無回答が見られた。</li> </ul>        | 上回っている。     |
| 理科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に全国平均を上回っている。特に「生命」を柱とする領域の正答率が高かった。</li> <li>・記述式の正答率が全国平均を下回っていた。記述式の問題に無回答が見られた。</li> </ul>                     | 上回っている。     |

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要(全国比)



質問紙調査の結果分析

学校での学習や学習習慣、自尊感情・夢・目標等の設問では、肯定的な意見を回答し、すべて全国平均よりも上回っていた。これからも、短期、中期、長期にわたる目標設定や学校生活全体を通して道徳科等で学習したことを児童の生活に生かしていくようにする。

1日当たりの読書時間を問う質問で、「1日1時間以上」の回答が全国平均のおよそ2倍もあった。図書委員会を中心にさらに読書への関心を深める取組を行っていくようにする。

コロナ禍の中で、地域の行事や催事が昨年まで行われていない現状にあったが、少しずつコロナ禍前に戻っていることもあり、地域や社会への行事等の関心が高まっていた。

家庭での学習習慣も年々、定着が進んできている。読書に向かう姿勢も向上して学習習慣につながっている。今後も引き続き、学習の仕方の紹介など、効率よく学習できる方法や内容を紹介し、「家庭学習がんばり週間」を全校で取り組んでいくようにする。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・3教科の結果で共通して「読んで考える。考えを書く。」という問題の正答率が低かった。思考を記述する問題を苦手な児童が多いので、授業の中で考え方を記述する学習を今後も全校で取り組めるようにしていく。
- ・学力アップの時間に、基礎基本的な国語や算数の問題を取り組む活動を引き続き行っていく。
- ・読書の時間等には、できるだけ読解力に結び付くような読書指導を進めていく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭での学習については、全校で現在行っている「家庭学習がんばり週間」が定着してきた。今後も保護者や教師がさらに内容や方法等についても助言し、意欲を高め、効果的な家庭学習を目指せるようにしていく。
- ・基礎的な生活習慣の定着については、「北九州子どもを育てる10か条」や「穴生スタンダード」等の大切さを学校だよりや学年・学級だより等を通して、保護者との連携を継続していく。また、子どもたちにも道徳科や特別活動、保健の学習等を通して日常的に指導を続けていく。